セルロイドハウス横浜館　バーチャルミュージアム

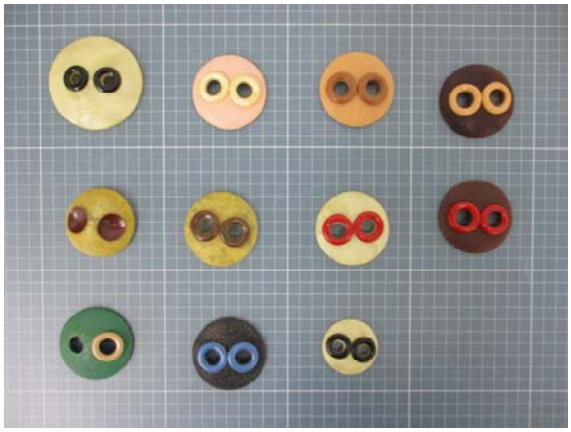
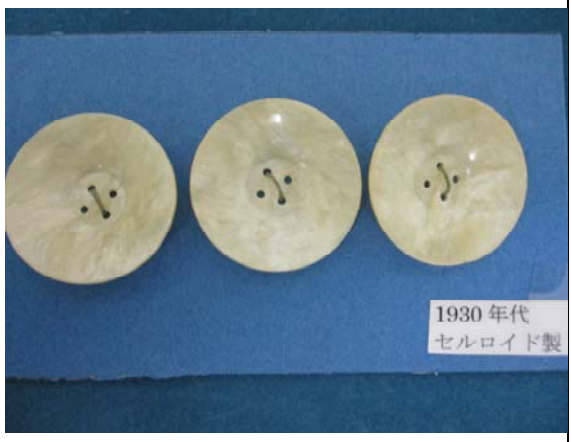
セルロイドハウス横浜館　収蔵品紹介シリーズ２

岩井ボタンコレクションの紹介（2/3）

2025 年 5 月

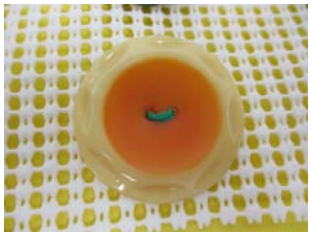
横川正博（セルロイドハウス横浜館）

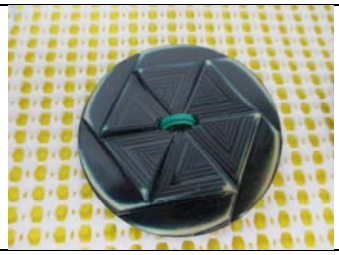
（前稿より続く） A.セルロイドボタン a-1. 構成要素：「セルロイドのみ」の場合（続き）

表穴ボタン: 顔ボタン、お椀型	
表穴 顔ボタン（狸穴） 13 個-Tray30,23(一部) 表・裏	お椀型 71 個 －Tray21.32.33
	

表穴　底面扁平　＋　表面模様:　天然素材(岩石・木材のような光沢を持つものもある。
146 個 － Tray26,27,28,29,23(一部)

表穴　曲面＋表面模様　　71 個 － Tray31,32,33





a-2. 構成要素:「セルロイド＋裏金のボタン」:

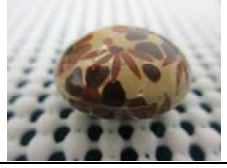
ボタン構成要素が**セルロイド＋裏金の場合,** ボタン穴を保持する強度は裏金により確保されているため、セルロイド部は厚さを薄くできる。こうした膨らみ形状はバブルと呼ばれ、着色により独特の光沢を帯びている。

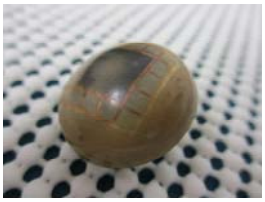
***裏金**とは、ボタンの裏側でボタン穴を構成し、ボタン全体の形状を支える金属構造である。	
裏金(表)	裏金(裏) この上にセルロイドのカバーが乗る

***セルロイド＋裏金ボタンの構造**: 破損したボタンを分解し以下の構造を確認できた。 構成部材は、**セルロイドの表面カバー＋綿毛/フェルト＋裏金**であり、セルロイドの熱可塑性質を利用した**後かしめ**と判断される。 (熱して圧縮―接着材は使用せず)		

＊形状比較(参考): 構成要素「**セルロイドのみ**」と「**セルロイド＋裏金**」の**ボタングループ**中でバブル(泡のような膨らみ)形状のボタン(Type13)と、同様な形状であるが、**セルロイドのみ**(小さい膨らみ＋表面模様Type5) で構成されているボタンを比較する。	
構成要素:**セルロイドのみ**(Type5)の場合 ボタンの機能を維持するため、セルロイドの上部・底部ともに厚さが必要である。しかし(セルロイド故に)重さは軽く、おもちゃのような可愛さを持つ。	
構成要素**セルロイド＋裏金**(Type13)の場合 裏金によりボタンとしての強度を持つことができ、外面保護＋装飾として使用されているセルロイドは薄く、バブルと呼ばれる膨らみ形状が、独特な光沢を持ち、高級感を醸し出している。	

バブル形状模様　63 個 – Tray17,18,22(一部)、23(一部)





中心のある表面模様(バブル無)　83 個 –　Tray12,13(一部)

a-3. 構成要素:「<u>金属構造＋セルロイド装飾</u>」 42 個 - Tray20, 21, 24(一部)

ボタンとしての**機能的性質は金属により確保**されており、**セルロイドは装飾**として利用されている。
装飾石とともに使用されることで、宝石のような趣を呈する。

a-4. 構成要素:「<u>セルロイド＋他素材</u>(自然素材等を含む)」 10 個 - Tray25, 24(一部)

外周：セルロイド　中心：貝材　（裏穴足）	外周：セルロイド　中心：金属（裏穴足）

（次稿に続く）

現在セルロイドハウス横浜館は所蔵品の常設展示を行っていないが、ボタンコレクションについては例外として所蔵品を観覧頂くことが可能である。
また本テーマにご関心をお持ちのボタン関係者、服飾関係者、コレクター他皆様との情報交換及び共同調査研究は大歓迎であり、以下のアドレスにメールにてお問合わせ頂きたい: celluloidhouse@aol.com